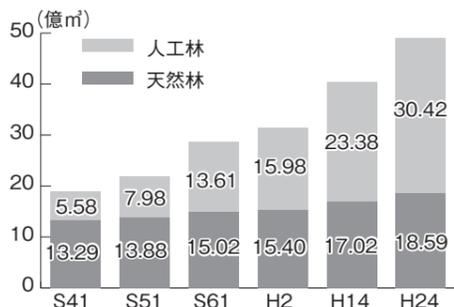


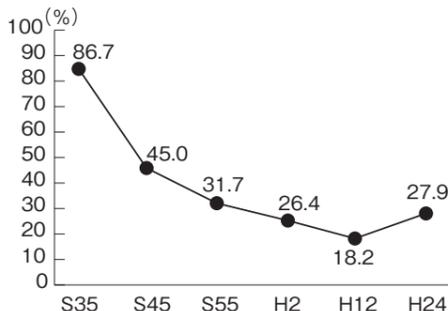
「森林」のいま

日本の森林がいまどのような状況にあるのか、データを見ながらご紹介します。

◆森林の蓄積の推移



◆木材(用材)自給率の推移



出典：林野庁のホームページから抜粋

充実する森林資源
日本は、森林面積が約2、500万haあり、森林率(国土における森林の割合)66%は先進国中、第3位と世界でも有数の森林国です。森林の蓄積(木の量)は現在、約49億立方mあり、その約6割が人の手によって植えられた「人工林」です。また、この蓄積は毎年約1億立方mのペースで増加しており、その多くがこの人工林の成長によるもので、年々充実しています(左グラフ参照)。

木材自給率は約3割
「森林・林業再生プラン」により5割を目指す
一方、木材自給率(国内で消費される木材のうち、国産材の割合)は昭和30年以降、外国産木材の輸入増で下降の一途をたどり、平成12年には18・2%まで下落。その後は国産木材の需要拡大の取り組みなどにより、同24年には27・9%まで回復しています。
国では、「森林・林業再生プラン」を策定し、平成32年までに木材自給率を50%まで引き上げようと、取り組みを進めています。

ご存じですか

森林の多面的機能

森林は、私たちの暮らしを安全で豊かにするため、いろいろな働きをしています。この働きを、「森林の多面的機能」といいます。



特集

「森林」

日本の国土面積の約7割を占める「森林」。天草市も土地面積の68・2%、4万6、570haが森林です。そこで今号では、森林の現状のほか天草の木、木材についてご紹介します。

「市民の森」(楠浦町)

市では、子孫に継承するため特に保存価値がある山林を「市民の森」として指定しています。写真は、昭和59年に市民の森に指定した、昭和10～30年代に植林されたヒノキやスギなどの森林です。

※詳細は本庁(別館)・農林整備課 ☎231111 へお尋ねください。